旭川市の広聴事業

まちづくり対話集会

市長が市内各所で様々なテーマに沿って対話集会を開き，市民から直接提言やアイデアなどを聴き，意見交換を行う。

始期：平成 18 年度
令和２年度：12 回開催
(令和３年度：２回開催)

市長への手紙

市民から，手紙やインターネットを通じて意見や提言をいただき，市長が文書で回答する。

始期：昭和 56 年度
令和２年度：750 通

市民の声（陳情・要望等）

地域や業界の団体などから，陳情・要望等を受け付け，文書や面談で回答する。

令和２年度：72 件

市民の声受付箱

市庁舎内に受付箱を設置し，来庁者に気付いたことなどを投函してもらう。

始期：平成７年度
令和２年度：51 件

市民アンケート

２年に１度，市民 3,000 人に対して，暮らしに関わる意識の変化などについて，郵送によりアンケート調査を実施する。

始期：平成３年度
過去５回の平均回収率 53.9%
※令和３年度実施

市政モニター

登録されたモニターに対し，インターネットを利用して，市の各種事業に関わるアンケート調査を行う。

始期：平成 26 年度
令和２年度：２回実施
登録者人数 136 人
（令和３年６月現在）

市政運営・まちづくりに反映

広聴のあるべき姿

市民と行政が互いの理解や信頼を深めるため，幅広い世代の市民の視点に立った多様な市民参加を推進し，市民ニーズの的確な把握に努める。

課題①

幅広い世代からの意見聴取
（比較的意見が少ない若い世代からの意見聴取）

課題②

広報と広聴の連携
（市政への反映状況などの情報を市民と共有する）